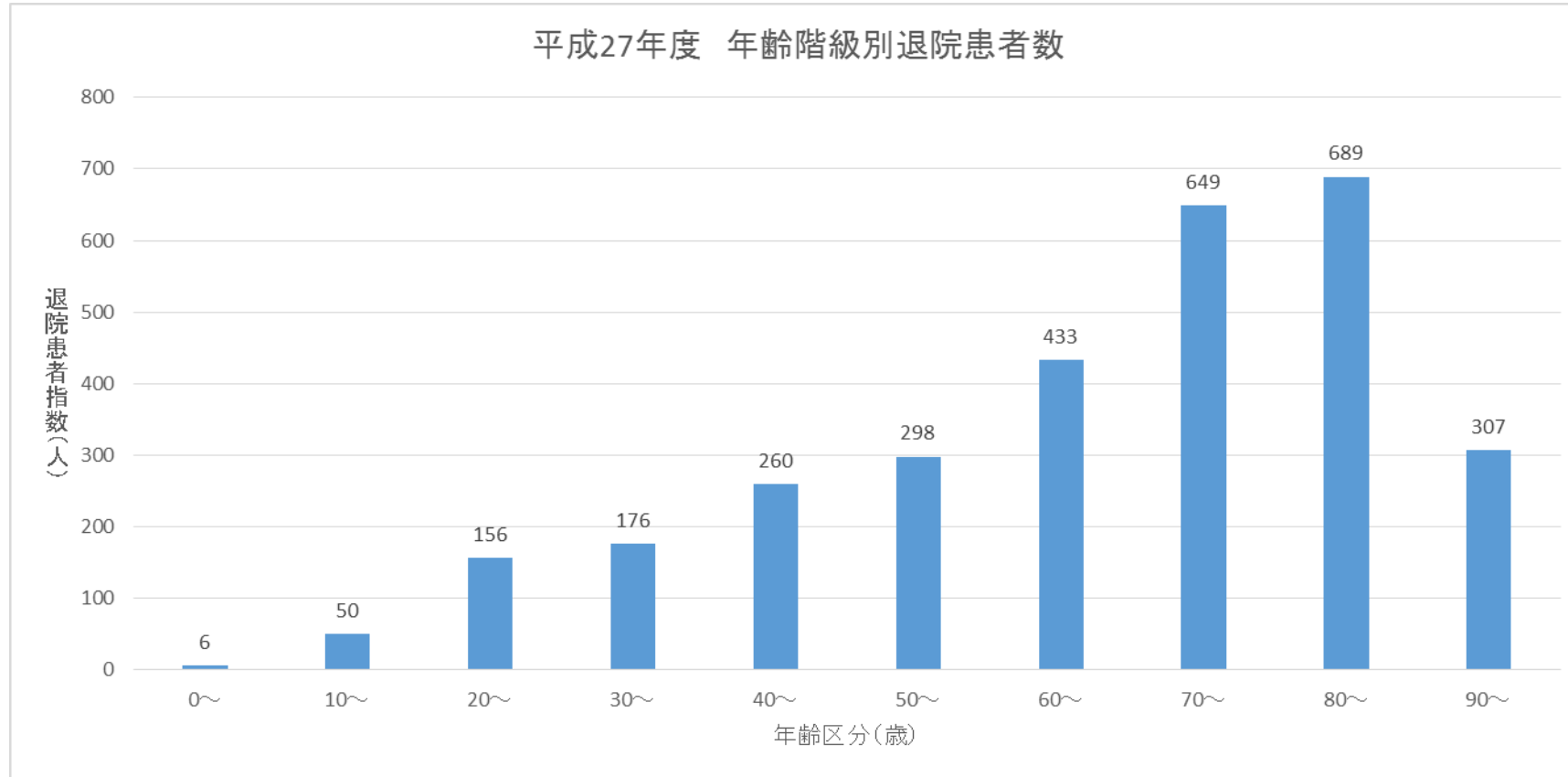


《年齡階級別退院患者数》



定義

- 平成27年度中に当院を退院した患者様の年齢を10歳刻みで集計しました。
- 年齢は入院した時点の年齢で集計しています。

解説

当院の退院患者を年齢階級別にみると60歳～80歳でおよそ全体の6割を占めています。船橋市南部西部地域の2次救急病院として『救急医療とリハビリテーション、予防医療、在宅訪問サービスまでのトータルケア』を提供しており、地域の高齢化を反映した数値となっています。

《診断群分類別患者数トップ3》

【内科】						
DPCコード	名称	患者数	自院の平均在院日数	全国の平均在院日数	転院率(%)	平均年齢
040080x099x0xx	肺炎、急性気管支炎、急性細気管支炎(15歳以上)	160	24.24	14.34	3.75	77.29
040081xx99x00x	誤嚥性肺炎	126	49.03	21.69	4.76	84.72
110310xx99xxxx	腎臓または尿路の感染症	66	31.15	12.6	3.03	76.56
【循環器科】						
DPCコード	名称	患者数	自院の平均在院日数	全国の平均在院日数	転院率(%)	平均年齢
050130xx99000x	心不全	17	39.82	18.3	0	83.71
040080x099x0xx	肺炎、急性気管支炎、急性細気管支炎(15歳以上)	14	32.79	14.34	7.14	80.5
040081xx99x00x	誤嚥性肺炎	11	28.91	21.69	9.09	87.64
【外科】						
DPCコード	名称	患者数	自院の平均在院日数	全国の平均在院日数	転院率(%)	平均年齢
060102xx99xxxx	穿孔または膿瘍を伴わない憩室性疾患	56	8.02	7.91	0	58.8
060100xx03xx0x	小腸大腸の良性疾患(良性腫瘍を含む。)	42	2.45	2.76	0	62.76
060335xx0200xx	胆嚢水腫、胆嚢炎等	33	8.24	7.84	0	49.85
【整形外科】						
DPCコード	名称	患者数	自院の平均在院日数	全国の平均在院日数	転院率(%)	平均年齢
160800xx01xxxx	股関節大腿近位骨折	75	58.49	28.7	4	81.88
160690xx99xx0x	胸椎、腰椎以下骨折損傷(胸・腰髄損傷を含む。)	63	30.3	21.52	0	80.84
160760xx97xx1x	前腕の骨折	33	8.67	11.96	0	73.15
【脳神経外科】						
DPCコード	名称	患者数	自院の平均在院日数	全国の平均在院日数	転院率(%)	平均年齢
010060x099030x	脳梗塞(JCS10未満)	25	33.2	18.08	4	68.24
010060x099000x	脳梗塞(JCS10未満)	-	-	15.8	-	-
010040x099x00x	非外傷性頭蓋内血腫(非外傷性硬膜下血腫以外)(JCS10未満)	-	-	19.32	-	-
160800xx01xxxx	股関節大腿近位骨折	-	-	28.7	-	-

【泌尿器科】						
DPCコード	名称	患者数	自院の平均在院日数	全国の平均在院日数	転院率(%)	平均年齢
040080x099x0xx	肺炎、急性気管支炎、急性細気管支炎(15歳以上)	-	-	14.34	-	-
【眼科】						
DPCコード	名称	患者数	自院の平均在院日数	全国の平均在院日数	転院率(%)	平均年齢
020240xx97xxx0	硝子体疾患	-	-	7.42	-	-
060050xx99x00x	肝・肝内胆管の悪性腫瘍(続発性を含む。)	-	-	10.55	-	-
【耳鼻咽喉科】						
DPCコード	名称	患者数	自院の平均在院日数	全国の平均在院日数	転院率(%)	平均年齢
030240xx99xxxx	扁桃周囲膿瘍、急性扁桃炎、急性咽頭喉頭炎	60	7.27	5.53	0	41.92
030428xxxxxxxx	突発性難聴	34	13.68	9.6	0	54.47
030390xx99xxxx	顔面神経障害	30	13.67	9.79	0	53.4

定義

- 全国平均在院日数はⅢ群病院の全国平均在院日数を掲載しています。
- DPC病院は厚生労働省により3つの群に分けられており、大学病院本院がⅠ群、大学病院本院の機能に準ずる病院がⅡ群、Ⅰ・Ⅱ群以外の病院がⅢ群となっています。
- 「転院」については転院患者数/全退院数を転院率とする。

解説および表の説明

診療科別に当院の入院症例数と平均在院日数及び全国平均在院日数の比較ができます。

特徴として内科は肺炎に関する入院が上位を占めており症例数も他の診療科に比べ多く占めています。

船橋総合病院全体としまして救急医療入院の割合が高い症例が多く外科、耳鼻咽喉科は平均在院日数が短い傾向にあります。リハビリテーションも提供しており各診療科とも転院率が低く退院できています。

※トップ3が10件以上ある診療科のみ掲載の対象としています。

《初発5大癌のUICC病期分類・再発患者数》

	初発の病期分類					再発
	Stage I	Stage II	Stage III	Stage IV	不明	
胃癌	8	8	4	2	10	2
大腸癌	14	25	10	38	16	16
乳癌	3	3	3	1	5	0
肺癌	0	0	0	3	0	2
肝癌	0	0	0	0	1	0

定義

- 集計中(平成27年度)に退院した患者様が対象で実患者数を集計しています。
- 初発の病期分類は、UICC病期分類に基づいたものです。
- 集計期間中に「初発」として集計されたものは、「再発」には集計しません。
- 医療資源を最も投入した傷病名が疑い病名であったものは、集計対象から除外しています。

解説

患者数として大腸癌が大部分を占めています。

当院では手術及び抗がん剤治療又苦痛を和らげる緩和ケアなど患者様に合わせた治療法を選択できる体制を整えています。

※病期分類が確定する前に亡くなられた場合等は、病期分類は「不明」として集計しています。

《成人市中肺炎の重症度別患者数》

	患者数	平均在院日数	平均年齢
軽症	13	20	51.69
中等度	107	24.94	79.35
重症	34	35.35	84.76
超重症	-	-	-
不明	-	-	-

定義

○集計中(平成27年度)に退院した患者様が対象で実患者数を集計しています。

○この集計での成人とは、20歳以上の患者様を指します。

○市中肺炎とは、普段の生活の中で罹患した肺炎を指します。

○入院契機傷病名および最も医療資源を投入した傷病名に対するICD-10コードがJ13～J18であるものが対象です。

※インフルエンザ等のウイルス性肺炎、誤嚥性肺炎は対象外

○重症度は市中肺炎ガイドラインによる重症度分類システム(A-Dropシステム)により分類しています。

1. 男性 \geq 70歳 女性 \geq 75歳
2. BUN \geq 21mg/ml 又は脱水
3. 酸素飽和度 \leq 90%
4. 意識障害(肺炎に由来する)
5. 収縮期血圧 \leq 90mmHg

軽症:5つのうちいずれも満たさない
中等度:1つまたは2つを有する
重症:3つを有する
超重症:4つまたは5つ・またはショック
不明:1～5のうち1つでも不明であったもの

解説

症例数では中等度の割合が最も多く、全体の7割ほどを占めています。

重症度があがるにつれて平均在院日数が長い傾向にあります。

また平均年齢も同様に重症度があがるにつれ高くなっています。

《脳梗塞のICD-10別患者数》

ICD10	傷病名	発症日から	患者数	平均在院日数	平均年齢	転院率(%)
G45\$	一過性脳虚血発作および関連症候群	3日以内	-	-	-	-
		その他	-	-	-	-
G46\$	脳血管疾患における脳の血管(性)症候群	3日以内	-	-	-	-
		その他	-	-	-	-
I63\$	脳梗塞	3日以内	79	44.48	75.8	4.44
		その他	11	81.82	72.82	0
I65\$	脳実質外動脈の閉塞及び狭窄, 脳梗塞に至らなかったもの	3日以内	-	-	-	-
		その他	-	-	-	-
I66\$	脳動脈の閉塞及び狭窄, 脳梗塞に至らなかったもの	3日以内	-	-	-	-
		その他	-	-	-	-
I675	もやもや病<ウイリス動脈輪閉塞症>	3日以内	-	-	-	-
		その他	-	-	-	-
I679	脳血管疾患, 詳細不明	3日以内	-	-	-	-
		その他	-	-	-	-

定義

- 集計期間(平成27年度)に退院した患者さんを対象としています。
- ICD-10とは「国際疾病分類・第10回修正版」のことであって、死亡や疾病のデータの体系的な記録、分析、解釈及び比較を行うため、世界保健機関(WHO)が作成した分類です。
- 「転院」については転院患者数/全退院数を転院率とする。

解説

当院では約8割の患者さんが発症から3日以内に治療を開始しています。早期に治療を開始し早期リハビリテーションへ移行できるよう目指しています。

※患者数が10未満の場合-(ハイフン)で表示しています。

《診療科別主要手術別患者数》

【内科】						
Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率(%)	平均年齢
K7211	内視鏡的結腸ポリープ・粘膜切除術(長径2cm未満)	31	0.77	2.77	0	59.61
K664	胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む)	16	45.63	44.63	0	78.88
K0461	骨折観血の手術(大腿)	11	8	84.82	9.09	84.09
【循環器科】						
Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率(%)	平均年齢
K0461	骨折観血の手術(大腿)	-	-	-	-	-
K331	鼻腔粘膜焼灼術	-	-	-	-	-
K610-3	内シャント設置術	-	-	-	-	-
K6532	内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術(早期悪性腫瘍粘膜下層)	-	-	-	-	-
【外科】						
Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率(%)	平均年齢
K6335	鼠径ヘルニア手術	50	1.36	4.92	0	62.64
K672-2	腹腔鏡下胆嚢摘出術	44	2.07	5.3	0	50.2
K721-21	内視鏡的大腸ポリープ切除術(長径2cm未満)	39	0.15	1.08	0	64.05
【整形外科】						
Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率(%)	平均年齢
K0461	骨折観血の手術(大腿)	64	5.28	45.14	0	80.77
K0462	骨折観血の手術(前腕)	56	2.63	21	1.79	64.04
K0483	骨内異物(挿入物を含む)除去術(前腕)	51	1	2.96	0	56.57

【脳神経外科】						
Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率(%)	平均年齢
K664	胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む)	-	-	-	-	-
K331	鼻腔粘膜焼灼術	-	-	-	-	-
K7433	痔核手術(脱肛を含む)(結紮術)	-	-	-	-	-
【眼科】						
Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率(%)	平均年齢
K28210	水晶体再建術(眼内レンズを挿入する場合)(その他)	91	0	1.08	0	74.25
K279	硝子体切除術	-	-	-	-	-
【耳鼻咽喉科】						
Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率(%)	平均年齢
K368	扁桃周囲膿瘍切開術	25	0.6	5.88	0	34.12
K3772	口蓋扁桃手術(摘出)	12	1	9.08	0	31.5
K340-6	内視鏡下鼻・副鼻腔手術4型(汎副鼻腔手術)	-	-	-	-	-

定義

- 手術術式の点数表コード(Kコード)による集計ですが、輸血関係(K920\$)、軽微な手術は除外しております。
- 術前日数は入院日から手術日(手術日当日は含まない)までの日数、術後日数は手術日から最終的な退院日までとする。
- 「転院」については転院患者数/全退院数を転院率とする。

解説

当院では内科は内視鏡的結腸ポリープ・粘膜切除術、外科では兎径ヘルニア手術、整形では骨折観血的手術を多く実施しております。他にも眼科では水晶体再建術、耳鼻科では扁桃周囲膿瘍切開術を施行している患者割合が多く占めています。この表より当院における平均的な手術までの日数及び術後から退院までの日数を知ることができます。

※退院診療科で集計しており、必ずしも「診療科」と「手術実施科」は一致しません。

《その他》

DPC	傷病名	入院契機	症例数	請求率(%)
130100	播種性血管内凝固症候群	同一	-	-
		異なる	-	-
180010	敗血症	同一	-	-
		異なる	-	-
180035	その他の真菌感染症	同一	-	-
		異なる	-	-
180040	手術・処置等の合併症	同一	-	-
		異なる	-	-

定義

医療の質の改善に資するために临床上ゼロにはなりえないものの、少しでも改善すべきものとして播種性血管内凝固症候群、敗血症、その他の真菌症処置・手術等の合併症について入院のきっかけとなった傷病名の同一性の有無を区別して患者数と発生率を示したものです。

※患者数が10未満の場合-(ハイフン)で表示しています。